# あぜりあタイムズ

復興支援員 活動報告とお知らせ　1月号（vol.8）

## 住民が希望を持てるむらづくりのために！

新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
平素より一般社団法人葛尾むらづくり公社の運営に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本法人は、住民が希望を持てるむらづくりを進めるため、昨年3月に設立され、村復興交流館あぜりあを拠点に活動を展開してまいりました。本年も引き続き葛尾村の新たな創造に向け、その一助となれるよう、組織の土台を整え、職員一同誠心誠意取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人 葛尾むらづくり公社　　代表理事　馬場 弘至

## クリスマス歌声喫茶

12月22日に開催したヴォイス・オブ・フクシマと教育委員会によるクリスマス歌声喫茶は、冒険少年サーカスの演奏と一緒に参加者の歌声や掛け声、手拍子などで楽しいクリスマスイベントとなりました。季節の歌やクリスマスソング、他にも懐かしい曲まで村内の子供たち地域住民の方が参加し、クリスマスの被り物をかぶってイベントを盛り上げました。終盤、冒険少年サーカスから子供たちへプレゼントが配られ、喜ぶ声が館内に響きました。

冒険少年サーカスによる演奏（上）と、参加者全員での集合写真（下）

## 今年一年の活動内容を発表

12月20日に浪江町で開催された、福島県浜通り等地域「行政と復興に関わるNPO等多様な主体の活動の理解・連携連続交流会」に、葛尾むらづくり公社の復興支援員として参加し、公社が今年取り組んだ活動の事例発表を行いました。

近隣のまちづくり会社の中では、設立から一年未満というまだまだ発展途上の公社ではありますが、今年、村民の皆様の協力を得て取り組んだ活動の数々が、今後の公社、そして葛尾村の前に進む姿勢であると、この交流会の場で発表することができました。

そのほか、近隣のまちづくり会社の発表には、今後の公社にも当てはまる課題や取り組み、活動の提案等が多く見受けられ、学習の場としてもとても充実した時間を過しました。

今回の交流会のように、沢山の方々にお会いし、知識や情報を共有できる機会をいただけたことに感謝を述べると共に、それらをしっかりと吸収し、今後の公社の運営に生かしていきたいと思います。

## 編集後記

昨年の12月19日の福島民報に葛尾村の特集で復興支援員が掲載されました。新聞の掲載を契機に今までつながりのあった方から連絡をいただきました。久しぶりの連絡にとてもうれしい気持ちになりました。今年も葛尾村で頑張りたいと思います！（須賀）

## 交通支援調査の報告

むらづくりの一助として、交通手段確保の方法を検討しています。交通手段のない方や、家族がいないと移動できない方を対象にご訪問しました。普段、村民の方とあまり関われていないこともあり、とてもよい機会となりました。聞き取りの中で、昔の葛尾村のことや学生の頃の話、ご家族の話などを教えていただきました。突然の訪問にも関わらず笑顔で対応してくださった皆様に、感謝申し上げます。

三春町で運営されている葛尾村社会福祉協議会の敷地で育てられていたモミの木が、先月交流館の敷地内へとお引越ししました。ほんのり小振り、しかし存在感のある立派な佇まいは、交流館の冬の夜を彩るイルミネーション担当として輝いてくれました。

来年は更に光り輝くイルミネーションを飾らせてくれるように、成長を見守りたいと思います。

発行元：一般社団法人葛尾むらづくり公社
〒979－1602　葛尾村大字落合字落合20番地1（TEL・FAX：0240－23－7765）
復興交流館「あぜりあ」の開館時間は9時～17時となります。※休館日は火曜日となっております。